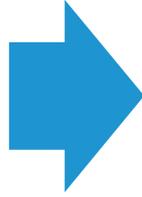


# スプリンクラー設備

## スプリンクラーが火災を感知すると



① スプリンクラーヘッドが熱を感知し、散水を開始する



② 専用ポンプが起動し、消火が行われる



## チェックポイント

### 散水障害



### 送水口まわりの点検



- スプリンクラーヘッドの周辺に障害物はありませんか
- 散水を止めるための制御弁がどこにあるかわかりますか
- 送水口の周辺には、障害物はありませんか

## 消火確認後の復旧方法



① 該当する制御弁室（各階に有）へ急行する



② 制御弁を閉める  
(時計回り：右回転)



③ 警報盤（ポンプ室等）の復旧操作を行う



④ ポンプ制御盤（ポンプ室等）の停止操作を行う

スプリンクラー設備は、初期消火の能力は非常に高いのですが、火災の消火を確認したら、制御弁を操作して散水を止めないと、水による被害（水損）が発生します。

## 補助散水栓は一人で使えます



① ノズルを取り出す



② 開閉バルブを開ける(反時計回り:左回転)



③ ノズルのバルブを開け放水する  
(反時計回り:左回転)



④ 消火確認後開閉バルブを閉める  
(時計回り:右回転)



⑤ 警報盤 (ポンプ室等) の復旧操作をする



⑥ ポンプ制御盤 (ポンプ室等) の停止操作を行う